

**2025年3月期（第125期）第2四半期
（2024年 4月 1日～ 2024年 9月 30日）**

芦森グループ決算説明資料

**連結業績は、売上高 34,523百万円、
営業利益 2,127百万円、経常利益 1,747百万円、
親会社株主に帰属する中間純利益 275百万円となりました。**

2024年 11月 8日

芦森工業株式会社

証券コード：3526

前年同期比で増収増益（営業利益/経常利益ベース）

	2024年3月期 中間 連結会計期間	2025年3月期 中間 連結会計期間	前年同期比	
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	31,182	34,523	3,340	10.7
営業利益	1,085	2,127	1,042	96.1
（営業利益率）	3.5%	6.2%	-	2.7
経常利益	1,589	1,747	157	9.9
特別損益	132	▲ 1,045	▲ 1,178	-
税金等調整前 中間純利益	1,722	701	▲ 1,020	▲ 59.3
親会社株主に 帰属する 中間純利益	1,294	275	▲ 1,019	▲ 78.7

■ 売上高・営業利益・経常利益は、
中間連結会計期間としては過去最高。

- 特別損益の内訳
- ・ 投資有価証券売却益 74百万円
 - ・ 自動車安全部品事業の製品保証損失 ▲ 990百万円
 - ・ 機能製品事業の製品保証損失、
棚卸資産評価損、製品補償対策費 ▲ 130百万円

		2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	
		中間 連結会計期間	中間 連結会計期間	百万円	%
		百万円	百万円		
自動車安全部品事業	売上高	23,961	25,713	1,752	7.3
	営業利益	1,127	1,798	670	59.5
	(営業利益率)	4.7%	7.0%	-	2.3
機能製品事業	売上高	7,203	8,793	1,589	22.1
	営業利益	311	635	324	104.1
	(営業利益率)	4.3%	7.2%	-	2.9
その他	売上高	17	16	▲ 0	▲ 5.5
	営業利益	7	7	0	1.3
全社費用	一般管理費	▲ 361	▲ 314	47	-
合 計	売上高	31,182	34,523	3,340	10.7
	営業利益	1,085	2,127	1,042	96.1
	(営業利益率)	3.5%	6.2%	-	2.7

■自動車安全部品事業

一部顧客および地域における生産調整の影響は収束し、円安効果に加え、原材料費の市況変動分および労務費上昇分の一部を売価に転嫁した結果、シートベルト関連では前年同期並み、エアバッグ関連・内装品関連においては前年同期比増収。

■機能製品事業

・パルテム関連

過去最高水準であった前年度からの繰越工事を期初より着実に実施し、前年同期を上回る水準で業績が推移。

・防災関連

大口径ホースシステムの大型案件があった前年同期比で減収減益。

・産業資材関連

主力の広巾織物や物流関連など各製品の販売が前年同期比で堅調に推移。また新規分野である住宅・土木関連向け地盤改良商品は当期に大型土木工事案件を施工・納入。

（単位：百万円）	2024年3月期 中間期末	2024年3月期 期末	2025年3月期 中間期末	前期末比
流動資産	32,912	34,652	33,382	▲ 1,269
固定資産	19,037	19,209	18,858	▲ 351
資産合計	51,950	53,861	52,240	▲ 1,620
有利子負債	14,417	12,937	13,180	242
その他負債	17,811	18,358	16,239	▲ 2,118
負債合計	32,228	31,295	29,420	▲ 1,875
資本金	8,388	8,388	8,388	-
資本剰余金	1,632	1,632	1,632	-
利益剰余金	8,980	10,901	10,565	▲ 336
自己株式	▲ 149	▲ 148	▲ 109	39
その他の包括利益累計額	823	1,743	2,302	558
新株予約権	23	24	16	▲ 7
非支配株主持分	23	24	24	0
純資産の部合計	19,722	22,566	22,820	254
負債及び純資産の部合計	51,950	53,861	52,240	▲ 1,620
自己資本比率	37.9%	41.8%	43.6%	1.8%

■ 棚卸資産の減少等により、前期末比で流動資産が ▲1,269百万円減。

■ 下請法への対応に伴い、一部仕入先への支払サイトを短縮したこと等により、前期末比でその他負債（買掛金等）が ▲2,118百万円減。

4. 連結C/Fと設備投資の状況

2025年3月期（第125期）
第2四半期 決算説明資料

(単位：百万円)	2024年3月期 中間 連結会計期間	2025年3月期 中間 連結会計期間	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	979	1,627	648
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 287	▲ 824	▲ 537
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 448	▲ 512	▲ 63
現金及び現金同等物に係る換算差額	239	198	▲ 40
現金及び現金同等物の増減額	481	489	7
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,883	5,744	860

「営業活動によるキャッシュ・フロー」・・・棚卸資産の減少等により、前年同期比で改善。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」・・・設備投資の増加により、前年同期比で悪化。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」・・・配当金支出の増加により、前年同期比で悪化。

(単位：百万円)	2021/3 期	2022/3 期	2023/3 期	2024/3 期		2025/3 期
	通期	通期	通期	中間連結会計期間	通期	中間連結会計期間
設備投資額	1,545	4,762	1,517	631	1,310	988
減価償却費	2,057	1,842	1,885	856	1,746	864

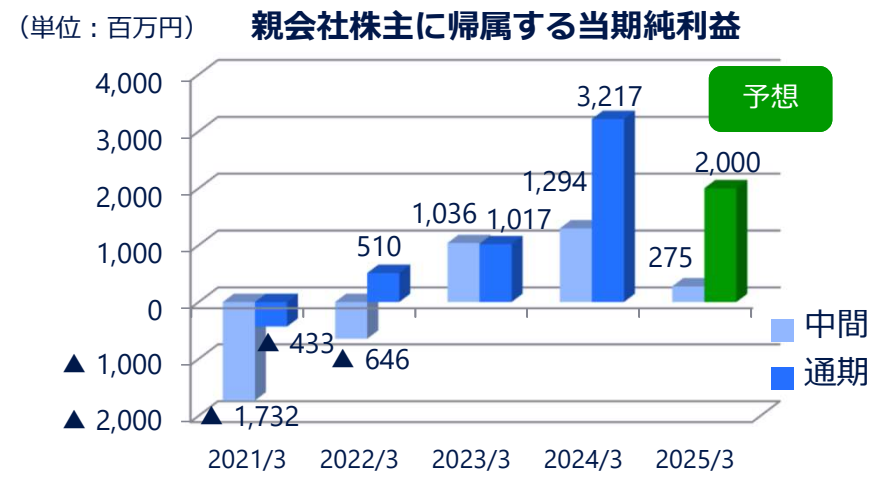
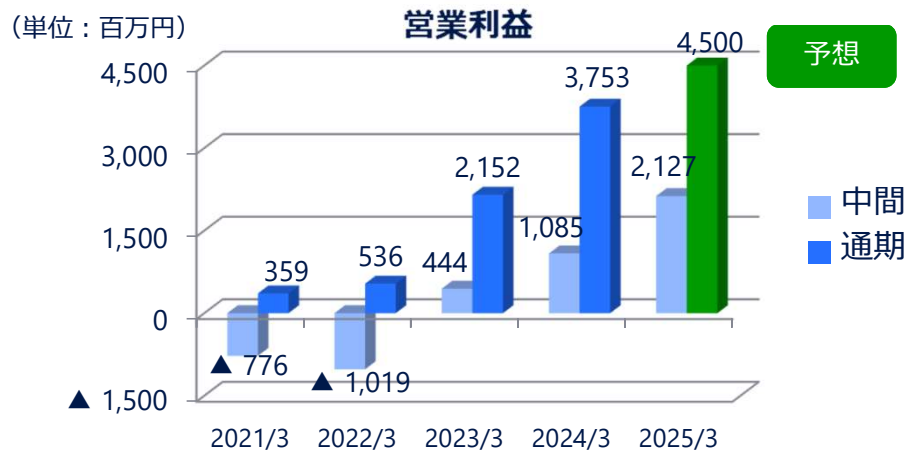
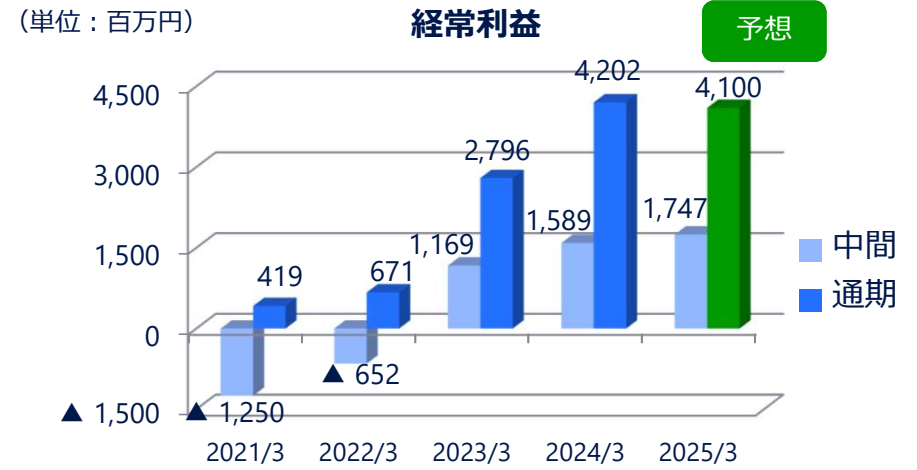
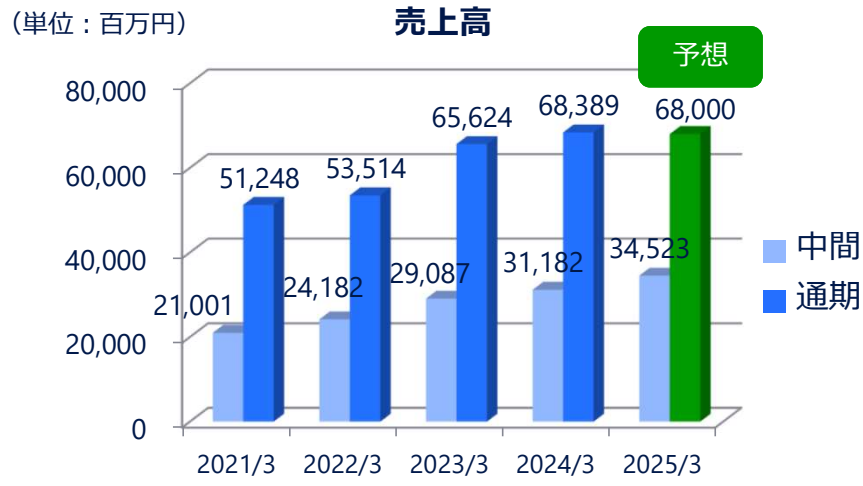
		2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期	前期比	
		実績	当初予想	予想	百万円	%
		百万円	百万円	百万円		
自動車安全部品事業	売上高	50,039	47,100	48,500	▲ 1,539	▲ 3.1
	営業利益	2,317	1,852	3,530	1,212	52.3
	(営業利益率)	4.6%	3.9%	7.3%	-	2.6
機能製品事業	売上高	18,320	19,985	19,470	1,149	6.3
	営業利益	2,184	2,198	1,700	▲ 484	▲ 22.2
	(営業利益率)	11.9%	11.0%	8.7%	-	▲ 3.2
その他	売上高	29	915	30	0	1.5
	営業利益	11	12	12	0	7.9
全社費用	一般管理費	▲ 758	▲ 862	▲ 742	16	-
合 計	売上高	68,389	68,000	68,000	▲ 389	▲ 0.6
	営業利益	3,753	3,200	4,500	746	19.9
	(営業利益率)	5.5%	4.7%	6.6%	-	1.1
	経常利益	4,202	3,200	4,100	▲ 102	▲ 2.4
	特別損益	135	-	▲ 1,045	▲ 1,180	-
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,217	2,000	2,000	▲ 1,217	▲ 37.8

■ 2025年3月期予想について

自動車安全部品事業において、円安効果に加え、原材料費の市況変動分および労務費上昇分の一部を売価に転嫁した結果、業績が大幅に改善したことに加え、機能製品事業においても、主力のパルテム関連(管路更生事業)で過去最高水準であった前期からの繰越工事を期初より着実に実施する等、順調に推移していることから、2025年3月期の通期業績は、営業利益、経常利益において前回予想を上回る見込みです。

6. 連結業績の推移

2025年3月期（第125期）
第2四半期 決算説明資料



自動車安全部品事業本部 主要製品のご紹介

シートベルト



1967年にシートベルトメーカーとして初めてJIS規格の認証を受けて以来培ってきた技術が詰め込まれており、「モーター巻取り式リトラクター」をはじめ、「次世代シートベルト」への挑戦にも積極的に取り組んでいます。

手動シェード



ドアトリム内にビルトインされた巻取り式ドアシェードです。使用時以外はドアトリム内に巻き取るため視界を遮ることがなく、また上端まで閉めればプライバシーを守ることができます。

エアバッグ



1986年にエアバッグの開発に着手し、1989年に量産を開始。座席サイド部分に内蔵される「サイドエアバッグ」や「カーテンエアバッグ」等、正面衝突以外の衝撃を緩和するための多種多様なエアバッグを製造しています。

セパレーションネット



乗員スペースとラゲージルームを仕切るネットで、急制動時に乗員スペースへの荷物の進入、荷くずれを防止し、乗員を守ります。

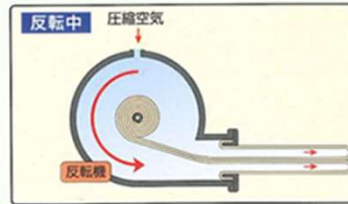
機能製品事業本部 主要製品のご紹介

パルテム・フローリング工法



住宅リビングの床をイメージできるフローリング工法は、円形のみならずあらゆる断面形に対応できる、主に下水道向け管路更生工法です。

ホースライニング工法



既設管の内面にシールホースを「反転」挿入し、新しくパイプを形成するパルテムの原点となる工法です。

消防用ホース 低圧力損失ホース



放水時の圧力損失を従来品と比較して最大約50%低減し、より遠く、高く、早く放水でき、低燃費で操作できるため環境への負担も軽減できるホースです。

緊急排水ホース「パルジェット」



水害や災害の現場で排水ポンプ車がすぐに使用できるように軽量化した緊急排水対策用ホースです。

リフトアップ式搬送システム「エアールシステム」



円滑なトラック貨物の移動により荷役作業を省力化させるシステムで、女性や高齢者でも容易に扱え、作業負担を軽減します。

軟弱地盤表層処理工法用シート「パレスシート」



格子状補強枠（専用モルタル充填円筒織物）と補強枠下の土木シートにより荷重を分散させ、軟弱地盤での沈下を防ぐ表層処理工法です。撤去も容易で原状復帰が可能です。

芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。

Mission・Vision・Values

【ミッション】

“私たちの使命は、命と暮らしを守る製品を提供することです”

【ビジョン】

“私たちは、すべての人々に信頼される企業グループであり続けます”

【バリュー】

“私たちは、誠実に、ルールを守り、品質最優先のものづくりに取り組みます”

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 総務広報課

TEL : 06-6105-1680

MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp

HP : <https://www.ashimori.co.jp>

ちから
つむぐ 技術、つなげる 未来

